

令和7年度 第2回 浦安市男女共同参画推進会議（第13期）議事要旨

- 1 開催日時 令和8年2月4日（水） 午後6時30分～午後8時
- 2 開催場所 文化会館 3階 大会議室
- 3 出席者
（委員）
木山会長、菅宮副会長、中西委員、永井委員、塩谷委員、亀山委員、
鈴木委員、延川委員、小笠原委員
（事務局）
企画部長、企画部次長、多様性社会推進課長、他2名
- 4 議事次第
（1）開会
（2）議題
①改訂第3次うらやす男女共同参画プランについて
②改訂第3次うらやす男女共同参画プランの策定に伴う基礎資料と
なる意識調査について
（3）事務連絡
（4）閉会
- 5 配布資料
・資料1 改訂第3次うらやす男女共同参画プラン 体系（案）
・資料2 男女共同参画社会づくりに関する市民意識調査 調査票（案）
・資料3 男女共同参画社会づくりに関する事業所調査 調査票（案）
・資料4 男女共同参画社会づくりに関する職員意識調査 調査票（案）
- 6 議事概要
○議題①改訂第3次うらやす男女共同参画プランについて
事務局より、資料1に基づいて説明を行った。

（質疑応答）

委員 困難女性支援法の施行により、プランの体系に施策を追加するとい
うことだったが、どのような方が事業の対象者となるのか。

事務局 この法律で「困難な問題を抱える女性」とは、「性的な被害、家庭の
状況、地域社会との関係性その他の様々な事情により日常生活又は
社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性」と定義されて
いるため、事業の対象もそのような方を想定している。

○議題②改訂第3次うらやす男女共同参画プランの策定に伴う基礎資料となる意識調査について

事務局より、資料2から資料4に基づいて説明を行った。

(質疑応答)

会 長 市民意識調査についてご意見を伺う。

委 員 設問F1、自身の性別について答える設問で、令和2年度に実施した前回の調査では、「3. その他」という選択肢であったところを、「3. どちらとも言えない・わからない」及び「4. 回答しない」に変更したとのことだったが、「その他」を残した方が良い。手術を行い、生物学的な性別と戸籍上の性別が異なる方などにとっては、「わからない」わけではないので、回答にあたって心理的負担が大きい。

事務局 「その他」は除外されているような印象を受けるので、今回選択肢を変更した。選択肢を増やし過ぎると、前回の調査との比較がしづらくなる。しかし、このままの選択肢では答えづらい方もいると思う。意味が近い「わからない」と「回答しない」を同一の選択肢とし、「どちらとも言えない」は単独にするなど、事務局で検討したい。

委 員 1点目は、F7のお子さんがいるか問う設問と、F8の一番下のお子さんの年齢を問う設問について、妊娠中を選択肢に入れた方が良いと思う。

2点目は、F9の介護が必要な家族がいるか問う設問について、介護というと高齢者に対してというイメージがあるので、「障がいのある家族の方の介護・ケアサポート」も入れたほうが良いと思う。

3点目は、問7の働き方の理想と現実を問う設問について、家で仕事と育児をする方もいらっしゃると思うので、テレワークやフレックスタイム制度などの多様な働き方についての選択肢を入れても良いのではないかと。

4点目は、問29の市として何に力を入れていくべきか問う設問で、障がいのある方など社会的困難のある方が意見や思いを述べられる場、市政に参加しやすい環境を整えるという選択肢があると良いのではないかと。

5点目は、調査の目的などが記載された送付文があると、調査票を配布された市民が、より回答しようと思うのではないかと。

- 事務局 F 7 及び問 7、問 29 については、事務局で検討したい。F 9 の介護が必要な家族がいるか問う設問については、注記を入れるなど再検討したい。また、調査票は、調査の趣旨や目的を記載した送付文を入れて発送する。
- 委員 問 21 の行政等の相談先として知っているものを問う設問で、「7. 千葉県暴力被害支援センターちさと」について、この名称より「ワンストップ支援センター」のほうが、認知度が高いと思う。
- 事務局 「千葉県暴力被害支援センターちさと」に「ワンストップ支援センター」を併記するか、検討したい。
- 委員 問 24 の重要なキーワードを知っているか問う設問で、「(エ) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」はわからないが、「SRHR」はわかる方がいると思うので、併記した方が良いと思う。また、「(カ) LGBTQ」は、「+」を付け加えた方が良いと思う。そして、「プレコンセプションケア」に国が力を入れていると思うので、設問に追加してほしい。
- 事務局 LGBTQ については、「+」も入れるか検討したが、千葉県のパンフレット等で使用している「LGBTQ」が一般的と考え、「LGBTQ」とした。「プレコンセプションケア」については、設問に追加することを検討する。
- 会長 次に、事業所調査について意見を伺いたい。
- 委員 事業所調査の対象は、どのような事業所を想定しているのか
- 事務局 経済センサス基礎調査のリストに掲載されている浦安市内の事業所で、常用雇用者数が 10 名以上で、公務・政治・経済・文化団体、宗教法人、重複事業所等を除いた事業者から、無作為抽出を行った 1,000 事業所を考えている。
- 委員 問 5 の休暇制度・勤務制度がどのくらい利用されているかを問う設問で、傷病休暇がある会社もあるらしいので、ある程度一般的な休暇

かと思うため、設問に入れても良いのではないかと。

委員 有給休暇の付与は義務であるので、「制度がない」という選択肢はあり得ないのではないかと。

委員 子の看護等休暇制度は新しい制度であるため、今回新設の設問であることは理解できるが、有給休暇制度が新しく追加されたのはなぜか。

事務局 県の意識調査を参考にし、子の看護等休暇制度と有給休暇制度を追加しているが、有給休暇については、設問に入れる必要があるかも含めて検討したい。

委員 一般事業主行動計画は、従業員が 10 人ほどの会社でも策定が義務なのか。

事務局 従業員が 101 人以上の企業は、策定が義務である。

委員 従業員が 101 人以上の企業だと、対象となる企業は少ないと思うので、この計画が何かわからない企業が多いと思う。前回の回答率はどうかだったのか。また、事業者が理解しやすいように注釈を入れたほうが良いのではないかと。

事務局 前回の調査では、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画は、中小企業 217 事業所のうち、策定していると回答した事業所が 18.4%、策定していないと回答した事業所が 38.2%、わからないと回答した事業所が 40.1%。小規模企業 38 事業所のうち、策定していると回答した事業所が 15.8%、策定していないと回答した事業所が 42.1%、わからないと回答した事業所が 36.8%となっている。また、前回との比較のため、注釈を加え、このままの設問とする。

会長 次に、職員意識調査についてご意見を伺いたい。

委員 問 14、ハラスメントを受けたり見たり聞いたりしたことがあるかを問う設問で、「(ウ) 異性の服装や容姿の特徴をあげて冗談を言う行為」は、冗談であるかどうかに関わらず経験があるかを問うよう、「冗談」

を削除していただきたい。

会 長 「(チ) 市民等による、食事やデートに執拗に誘う、性的な冗談といった性的な内容の発言をする行為」にも「冗談」が入っている。

委 員 こちらも削除していただきたい。

委 員 マタニティハラスメントの「(コ) 妊娠に伴い本人の意にそぐわない配置転換をする行為」は、男性にも似たようなことがあり得るのではないか。育休の取得後、左遷されたといったことも聞いたりする。「育児休業に取得に伴って本人の意にそぐわない配置転換をする行為」といった設問を入れてはどうか。

委 員 現在、企業は育児休業の利用を認めないことはできないが、意にそぐわない配置転換をすることは、実際にあると思うので、設問に入れて良いと思う。

委 員 企業が、従業員の子どもの小さいことに配慮して、子どもの発熱などで突然早退することが可能で、周囲の従業員でフォローできる部署に配置転換していることも考えられる。

委 員 委員の言われた通り、配慮のため部署異動することも考えられる。

委 員 しかし、話し合いをすれば、意にそぐわないことはない。

委 員 パタニティとは、パートナーの妊娠出産に伴う期間や、育児休業期間のことだと思うが、子どもが大きくなるまでの子育ての期間も、意にそぐわない配置転換があり得ると思う。

委 員 「育児参加を理由に」としたらどうか。子どもの発熱などの理由で定時に帰ることで、「最近残業が少ないのでは」などと言われる状況があり得る。

委 員 マタニティハラスメントもパタニティハラスメントも、「育児を理由に意にそぐわない配置転換をする」とし、文言を揃えても良いのではないか。

- 事務局 マタニティハラスメントとパタニティハラスメントの文言については、事務局で検討する。
- 委員 「(カ)「女性は優秀だから」など成功原因を性別に帰属する発言」とあるが、成功だけでなく、失敗もあると思う。また、男性もあるのではないか。具体的に書かれていると限定されたものになってしまうので、「成功及び失敗の評価を性別に帰属する発言」としたほうが良いのではないか。
- 委員 カスタマーハラスメントは両方とも性的な内容だが、「男だから気が利かない」など、性別に帰属する発言で苦しめられることはあるのではないか。
- 事務局 カスタマーハラスメントの設問は、性的なものと、性的なものではないが性別に帰属するものにした方が良いかと思うので、再検討させていただく。
- 委員 問19「(ケ)理系は男性のほうが向いている」は、例えば「看護系の学部は女性の方が向いている」など、学問の分野は性別により向き不向きがあるということだと思うので、「学部や専攻の選択には、性別により向き不向きがあると思う」などのほうが趣旨に合うかと思う。
- 事務局 本日いただいた意見を踏まえて、文言などについてもう一度検討する。
- 会長 以上で、令和7年度第2回浦安市男女共同参画推進会議を終了する。